

今後の研究計画

吉脇 理雄

(I) 位相的データ解析 (TDA) への応用に関する研究.

「これまでの研究成果のまとめ」に書いたが、パーシステントホモロジーの多重パラメータデータへの拡張に取り組んでいる。すなわち、多次元パーシステント加群に関する表現論の課題に取り組みたい。

(I)-1：第1に、多次元パーシステント加群に関する我々の結果[11], [12]のさらなる研究を行いたい。理論拡張、アルゴリズムとしての完成といったことである。

(I)-2：第2に、パーシステント図のノイズ安定性を多次元パーシステント加群への拡張を想定した研究を行う。ノイズ安定性は位相的データ解析の土台の一つであり、多次元パーシステント加群の実用化には不可欠であることを申し添えたい。

(II) その他

京都大学WPI-ASHBiのメンバーとの共同研究、ACT-Xのメンバーとの共同研究を行っていく予定である。